

ファッション  
One Point  
アドバイス

花柄ワンピースを  
羽織物代わりに！

最近、ちまたでは、この羽織物に、小花柄のワンピースを利用して人を見かけます。

小花柄のワンピースは、膝丈からアングル丈まで、総じて長めのものが人気のようです。前立て部分のボタンを全部止めると、ワンピースとして可愛らしい装いになるのはもちろん、色々なコーディネートが楽しめる1枚で、冬場のコーディガン(ロングカーディガン)よりもバリエーションは多彩。これから購入したいという人には、ポリエステルジョーゼットや綿ローンといった素材のものがおすすめです。

ポリエステルはシワにならないので、羽織物には良いのですが、夏場にワンピースとして着用するには、肌にべったりとまとわりつく生地は避けたいものです。そこで、薄地で、生地の表面に均一に細かいシボ(縮みしわ)があるジョーゼット地は、肌に密着することがなく、疎水性のポリエステル生地でも蒸し暑い夏場に涼しく着られます。ポリエステルジョーゼットでは少し重いと感じる人には、薄手の綿生地、綿ローンがお勧めです。ローンという生地は、非常に細い番手の糸で織った平織の布で、密に織られているのに、生地の裏側が透けるような薄さが特徴です。そのため、ふんわりと羽織ることができ、ワンピースとしても肌に直接触れないくらいの軽やかな着心地を楽しめます。ただ、綿ローンの場合は、細かいシワがたくさんできますが、着用ジワや座りジワもファッションのうち。シワさえ楽しむ感覚で着こなせたら、もうおしゃれ上級者かもしれません。



# Clipbox Topics

## 春夏のファッションは 刺繍ブラウスとカラフルスカート

繊維業界メディアの織研電子版によると、今年の春夏ファッションヒット商品は、1位に刺繍ブラウス、2位はカラーフレアスカートだったと発表されています。



写真のように刺繍ブラウスは、花柄の刺繍が多く、昨年から引き続き、抜け感のあるゆったりとしたオフショルダー(7位)のシルエットと女性的なふくらみのあるポリウム袖(5位)といったファッショントレンドを盛り込んだ商品が人気です。

OL層に人気のあったカラーフレアスカートは、ピンク、イエロー、ブルーと鮮やかな色が注目され、店舗ではカラーバリエーションが豊富に展示されていたようです。



HD NEWS 2017年7月31日(隔月)発行 第13巻第4号通巻74号

くらし応援ニューズレター

# HomeDry News

ホームドライニュース No. 74



ファッション・ワンポイント花柄ワンピースを羽織物代わりに  
クリップボックス・トピックス: 春夏ファッションは刺繍ブラウスと...  
衣類のケア講座: 水を使って洗濯する  
衣生活の知恵: 皮脂汚れが夏の保管中に黄バミになります

まごころクリーニング  
**ホームドライ**  
http://homedry.or.tv/





## 衣類のケア講座

### 水を使って洗濯する

●水に入れてだけで繊維や汚れの一部はふやけて取れやすくなります

水に入れると、合成繊維以外のほとんどの繊維は、水分を吸収して柔らかくふやけます。水に溶ける性質の汗汚れなどが溶け出します。また、ゴミやホコリなどの汚れも、水の力で落ちやすくなります。例えば、壁に付いた汚れが、水をかけただけではがれ落ちてしまうのと同じです（水素結合の解消）。

●揉んだり叩いたりすると繊維の奥の汚れ成分が出てきます

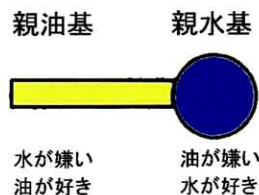
マットを叩けば埃が出るように、繊維の奥に入り込んだ不溶性の汚れ成分は、繊維製品に揉むとか叩くといった力を加えると出てきます。また、剥がれ落ちそうになっている汚れも落ちます。ゴシゴシとこすったり、洗濯機のドラムが回転して繊維製品を揺り動かす力が効果になります。

●洗剤は汚れを引きはがし包み込みます

洗濯中の浴槽を見ていると、洗剤が白く泡だつのと、透明だった水が濁っていくのが見えます。ところで、泥水に衣類が濡れると泥汚れになる

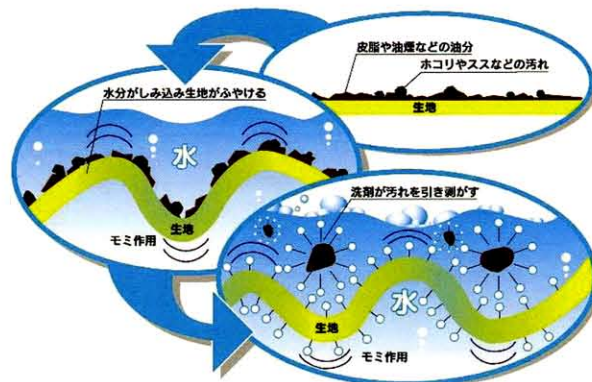
のに、なぜ汚れが溶けだした水の中の洗濯物は白く洗いあがるのでしょうか？ここに、大きな洗剤の働きがあるのです。

洗剤の主成分は界面活性剤（かいめんかつせいざい）といわれる化学物質です。界面活性剤の種類は無数にありますが、すべての界面活性剤に共通しているのは親油基（しんゆき）と親水基（しんすいき）という全く性質の違う部分を持っているということです。



界面活性剤が水に溶け出すと、水が嫌いで油が好きな親油基は、皮脂などの油性の汚れに向かって集中します。また、衣類全体をおおい汚れの接着剤の役目をしている油煙にもアタックします。

界面活性剤は、張り付いている汚れを引きはがして、汚れ全体に付着しようとし、しまいには引きはがした汚れ全体を包み込んでしまうのです。このことによって、洗剤は汚れを落とし、また繊維製品に再付着しないようにするという効果を発揮するのです。



## なるほど納得!

衣生活の知恵

### 皮脂汚れが夏の保管中に黄バミになります



生地表面の皮脂汚れが、酸素と結合し黄バミます  
首周りが黄色く変色したセーター

秋冬物衣類をクリーニングせずに保管していると、黄バミの原因になります。

人の肌がメガネや窓などのガラスに触れると、白く脂分が付着するのがわかります。人の体の表面は、乾燥から体を守るために、常に皮脂という油脂に覆われているからです。衿周りや袖口などはもちろん、手の触れる部分全てにも皮脂は付着します。

バターやマヨネーズを包装から取り出して、数時間放置していると、空気に触れる表面だけが濃い黄色に変色します。これは、空気中の酸素と油脂分が反応する酸化といわれる現象です。

夏よりも乾燥する冬の方が皮脂の量は多く分泌されるといわれています。皮脂は、夏の間の高温多湿な保管環境で酸化され黄バミになりやすいのです。1度でも着用されたら、クリーニングで、見えない皮脂汚れを落として、ポリ袋から取り出し通気性の良い状態で保管しましょう